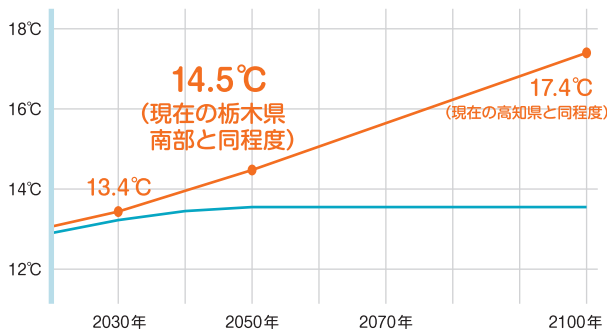


那須塩原市の **ピンポイント** 気候変動予測

気候変動は、市の産業や私たちの暮らしに大きな影響を及ぼす恐れがあります。気候変動に対応するために、私たちに出来ることを考えましょう。

2050年には栃木県南部と 同水準の気温に…!

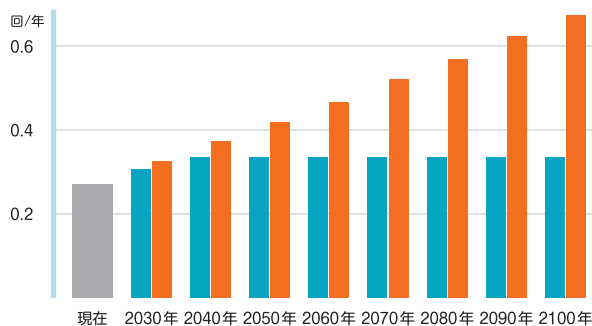
■ 那須塩原市 年平均気温の将来予測



那須塩原市の年平均気温は、2050年には現在の栃木県南部と同程度、2100年には現在の高知県と同程度にまで上がると予測されます。

滝のように降る雨は 最大で現在の2.5倍に増加…!

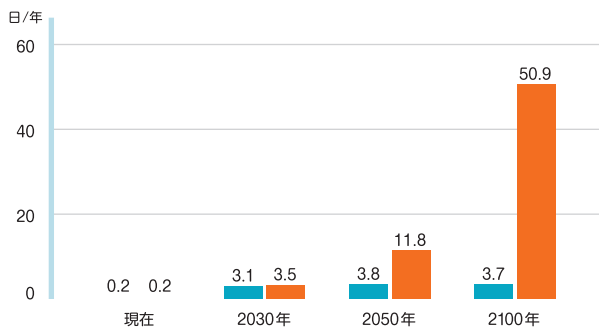
■ 那須塩原市 時間雨量50mm以上の出現回数の将来予測



滝のように降る雨(時間雨量50mm以上)は、2100年には現在の2.5倍の頻度にまで増えると予測されます。

8月はほぼ毎日が熱帯夜!?

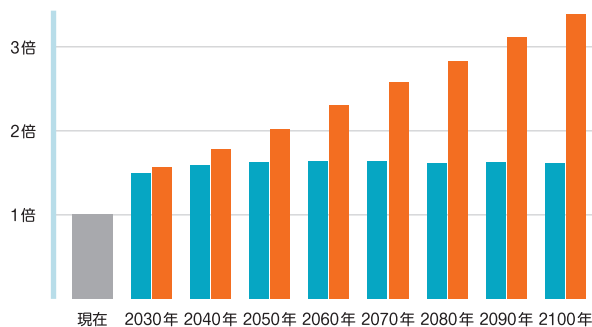
■ 那須塩原市 熱帯夜日数の将来予測



那須塩原市の夏が一変します。猛暑日、真夏日、熱帯夜が増加すると予測されます。

災害をもたらすような 大雨も増加する…!

■ 那須塩原市 日降水量(避難判断水位超過相当)の将来予測



河川氾濫の恐れがある大雨の頻度は、最大で3倍以上に増加すると予測されます。

■ 温暖化対策を講じた場合(RCP2.6)

■ 温暖化対策を講じなかった場合(RCP8.5)

このリーフレットは、気候変動への適応・緩和の推進に関する協定を結んでいる(株)ウェザーニューズと協力し、作成しました。
(2022年3月作成)

那須塩原市気候変動対策局

〒325-8501 栃木県那須塩原市共豊社108-2
[TEL] 0287-73-5651 [FAX] 0287-62-7500
[メール] nccac@city.nasushiobara.lg.jp

気候変動への
本市の取組状況は
こちらから



産業・生活への影響

気候変動により生乳や農作物にも影響が出る…!

気温が上がると、これまで当たり前前に収穫できていた野菜が採れなくなり、また、乳牛の搾乳量が落ちることが予測されます。

一方で、ナスやアスパラは、気温と収穫量との関連がありませんでした。

■ 温暖化対策を講じなかった場合 (RCP8.5)

	2030年	2050年	2100年
 夏場の搾乳量	1% 減少 ↓	2% 減少 ↓	6% 減少 ↓
 ホウレンソウ収穫量	減少なし	4% 減少 ↓	11% 減少 ↓
 水稻収穫量	3% 減少 ↓	4% 減少 ↓	5% 減少 ↓
 ネギ収穫量	減少なし	1% 減少 ↓	3% 減少 ↓

※過去の市内の搾乳量・収穫量と気温データを元にした解析結果です。実際の搾乳量・収穫量には気温以外にも、育てている品種や設備等も影響を与えますが、それらは考慮していません。

Action! 私たちのできること

- 高温に強い品目、品種の栽培
- 作付時期の見直し
- ハウス栽培における換気、散水、細霧冷房などの暑熱対策
- 病害虫や雑草の発生状況の把握、防除時期・回数の見直し
- 生産者自身の健康管理のため、農作業時間の変更や休憩・給水時間の確保

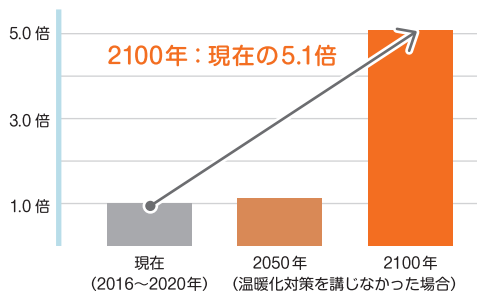
熱中症リスクは最大5倍に…!

気温が上がれば、熱中症のリスクも増加します。市内の熱中症搬送リスクは現在の5倍以上になると予測されます。

◆熱中症搬送リスクとは?

過去の那須塩原市内の熱中症に伴う救急搬送者数及び市内で観測された日最高気温を元に算出しています。

■ 那須塩原市 熱中症搬送リスクの将来予測



Action!

私たちのできること

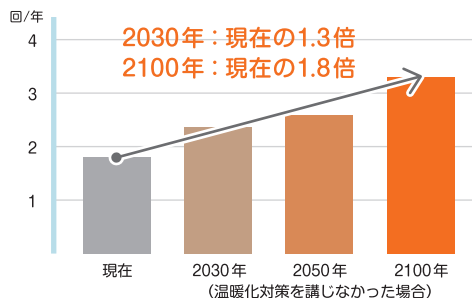
- ホームページやみるメールを活用した熱中症予防情報の入手
- 暑さ指数に応じた生活活動、子供や高齢者等への注意喚起
- エアコンなどの空調機器の適切な使用やこまめな水分補給

道路冠水のリスクも増加…!

短時間でザッと降る雨による道路冠水の頻度は、2030年には現在の1.3倍の頻度に、2100年には1.8倍の頻度になると予測されます。

※過去の那須塩原市内(市道)の冠水に伴う通行止履歴及び市内で観測された雨量データを元に算出しています。

■ 那須塩原市 道路冠水リスクの将来予測



Action!

私たちのできること

- ハザードマップ、浸水実績マップの確認
- 避難場所と避難経路の確認
- 気象情報・災害情報のチェック